






## STEP 1 モニタリングとデータの見方①

作物の成育に重要なポイントを計測・記録（モニタリング）してみましょう。

<p>温度 (°C)</p>		<p>●作物の成育（光合成、呼吸）、病害虫の発生程度等に影響します。</p> <p>作物には成育適温が、病害には発病適温が、害虫には成育適温がそれぞれあります。</p>
<p>相対湿度 (%)</p> <p>飽差 (g/m<sup>3</sup>またはhPa)</p>		<p>●相対湿度は、その温度で空気を含むことが可能な水蒸気の圧力に対する、現在の水蒸気の圧力の比率です。</p> <p>●飽差は、空気にあとどれだけ水蒸気を含むことができるか(乾きやすさ)を示す指標です。蒸散や光合成に影響を与えます。</p> <p>相対湿度が高い値（飽差が低い値）が長時間続くと病害発生の危険性が高まります。相対湿度が低すぎる（飽差が高すぎる）と、気孔が閉じて作物体内にCO<sub>2</sub>を取り込むことができず、光合成量が低下します。相対湿度が高すぎる（飽差が低すぎる）と、蒸散量が少なくなり肥料の吸収量が減ります。時間帯によって適値が異なります。</p>
<p>CO<sub>2</sub>濃度 (ppm)</p>		<p>●空気中に含まれるCO<sub>2</sub>の割合のこと。</p> <p>作物が光合成を行うために必要です。日中、低い値になると光合成量が低下します。一方、夜間は呼吸によりCO<sub>2</sub>濃度は高くなります。普通、外気は400ppm（0.04%に相当）程度の濃度です。</p>
<p>日射量 (W/m<sup>2</sup>)</p> <p>照度 (lx)</p>		<p>●光合成を行うためのエネルギー源です。</p> <p>日射量は光のエネルギー量で、値が大きいほど光合成量が増えます。なお、照度 (lx) は人の目に感じる明るさを示す値です。</p>
<p>土壌含水率 (%)</p>		<p>●土に含まれる水の割合のこと。</p> <p>高すぎると根の伸長量が少なくなります。低すぎると吸収できる水や肥料の量が減る他、カルシウム欠乏などの障害が出る可能性があります。</p>